

学校の様子(6/18～6/22)

6/18(月) 児童集会

今日の児童集会は、集会委員会による「間違い探し集会」です。「むかしむかし、ある村に、心のやさしい浦島太郎という老人がいました。・・・」で物語が始まり、司会やナレーション役が会を進めると同時に、「浦島太郎、たこ、かぐや姫、老人、煙」の役者が舞台上に登場し、注目を集めました。間違いは4つ(①浦島太郎がおじいさん ②助けたカメがタコ ③乙姫様がかぐや姫 ④玉手箱を開けたら赤ちゃんに)がありました。



6/19(火) パンの日・・・パンの先生登場!

「パーン パーン パーン パーン パンパンパンパカパンパン パン パン パン!」の音楽に合わせて『パンの先生』が教室に現れました。そうです。今日の給食は久しぶりの「パンの日」です。今年度初めての『パンの先生』登場です。山本健一先生の明るい笑顔とともに、食後の楽しいひとときを過ごしました。



6/19（火）園芸委員会 花壇の植え替え

園芸委員会では先週から、花壇の植え替えのために、いっちータイムや昼放課の時間に活動しています。今日はマリーゴールド、サルビア、アガパンサス、ポチュラカなどの花の苗をポットから花壇の土に植え替えました。これから水やりや草取りをして育てていきます。



6/20（水）4年生 エチオピアとつながりました！

昨年度からエチオピアの学校に赴任している西田香奈子先生から祈念すべき第10号のエチオピア通信が届きました。そして今日は、なんと教室のテレビ画面にエチオピアとのLINEを通じたビデオ通話が実現しました。今年度は4年生が、国際共同絵画作成（アートマイル）プロジェクトに参加します。その準備段階で、今日は4年1組でエチオピアの子どもたちとビデオ通話で初の交流をしました。これから交流をさらに深めていきます。7月には一時帰国の西田先生からお話を聞く予定です。



市が洞小学校、南中学校のみなさん、
 「ለሰዓ ልሳጃ (サラムナチュ)」 (=こんにちは)
 1学期も折り返しにさしかかり、市が洞小では水泳の授業が、
 中学校ではそろそろ期末テストが近いころでしょうか...?
 日本も梅雨に入ったと聞きましたが、エチオピアも日本と同じ
 ように雨の多い「雨季」に入りました。日本の梅雨のように、
 “一日中雨”ということはないですが、一日に一度は土砂降りの
 雨が降ります。
 この時期に困るのは、
 ①洗濯物が乾きにくいこと (<日本も同じ)
 ②くつが雨でドロドロになること (<日本も同じ?)
 ③ダニに刺されやすくなること (<エチオピアだけ!?)
 先生も最近、このダニにやられて足がかゆい今日この頃。
 日本からもってきたムヒを塗って、
 たえしのぎます! 笑

くつが高でドロドロになる雨季は、
 「くつみがき屋さん」が大はやり!
 1回3スル(約12円)でピカピカ
 にしてくれます★

レックススピークファミリー〜アムハラ語を話してみよう!

ワールドカップが開催したことになんで☆
「サッカー」は、アムハラ語で
「እጥር ክለ (イグル クラス) 」
 と言います!
 エチオピアは今回、残念ながら出場
 できていませんが、みんなサッカーをするのが大好きです!

ハウゼンに行ってきました!

エチオピアの北「ティグライ州」にある町「ハウゼン」についてちょっと紹介!

大きな岩山の頂上付近にある、**岩窟教会(がんくつせうかい)**が有名です☆

岩窟教会目指して、ここまで登るよ〜!

岩窟教会の中の様子。

到着!!(^o^)

約1時間かけて登る登る☆

ロッククライミングのよう...!!

広大な大地!!

☆前回のクイズの答え☆
 これは何の絵でしょう?
正解は、①ポットでした!

このポットは、エチオピアでは「ジャバナ」と呼ばれていて、コーヒーをいれるときに使っています☆

西田先生から送られたエチオピア通信第10号

6/21(木) 2年生 ザリガニ釣り

2年生が生活科の学習で、ザリガニ釣りを体験しました。前日からの天候不順のため、ボランティアの方がザリガニを市小まで運んでくださり、子どもたちは体育館で説明を聞いたあと、中庭で「ザリガニ釣り」を体験しました。わくわくドキドキしながらの楽しい体験となりました。ボランティアの4名の皆様、ありがとうございました。



6/22(金) 2年生 サツマイモ苗植え

2年生が地域の方々とサツマイモの苗植え体験をしました。2クラスずつ3つに分かれて行いました。地域の方から苗植えの説明を聞き、一人一苗ずつ植えました。なかなかうまくいかず、苦労をして植えている子どもたちもいましたが、丁寧に教えていただき、全員が植えることができました。子どもたちにとっては初めての貴重な体験です。今日は12名もの地域の方々にお世話になりました。ありがとうございました。



大きくなれ サツマイモ苗植え
 長久手市が洞小 小年寄りが指導

長久手市の市が洞小学校のお年寄りたちが二十二日、学校近くの畑で、同小の二年生約二百人を招き、サツマイモの苗植え体験を催した。

校区の民生委員やシニアクラブの人たち十二人が参加。借り受けた約百六十五平方メートルの土地に、子どもたちと「鳴門金時」の苗を植えた。

苗植えは、民生委員が中心となり、地域のつながりをつくる目的で三年目を迎えた。子どもたちは、お年寄りたちに苗の植え方を聞きながら丁寧に苗を植えていた。

校区の民生委員、松岡幹博さん(68)は「三年目で活動も活発になった。お母さんたちも、こつしたボランティア活動を知ってくださるなど三世代の交流が生まれ

お年寄りからアドバイスをもらいながらサツマイモの苗を植える子どもたち=長久手市市が洞で

6月23日(土)の中日新聞「なごや東版」で紹介がありました。

「いる」と手応えを語った。秋、さらに収穫祭も計画しており、サツマイモを収穫して子どもたちに蒸したイモを振る舞う予定。(村松秀規)